

# いしかり ESD 通信

子どもたちとつくりよう！地球の未来



第3号 (2016.3.17)

石狩市は環境省と連携し、ESD（持続可能な開発のための教育）推進に取り組んでいます。第3号では、2月に開催した「石狩市 ESD 実践発表・意見交換研修会」の様と、石狩市立双葉小学校・同厚田小学校の取り組みをもとにした「北海道版 ESD 環境教育モデルプログラム」をご紹介します。

## 「石狩市 ESD 実践発表・意見交換研修会」が開催されました

平成 28 年 2 月 9 日(火) 15:00~17:00

いしかり ESD 通信第1号、第2号でお伝えしてきた取り組みとその成果を広く共有し、未来を考えるこれからの教育や学びにつなげていくため、2月9日（火）石狩市総合保健福祉センターりんくるにおいて「平成 27 年度 石狩市 ESD 実践発表・意見交換研修会」を開催しました（主催：石狩市・石狩市教育委員会・EPO 北海道）。

石狩市内の全小中学校の先生からお申し込みをいただき、当日は学校教育や ESD に関心をお持ちの市民・市民活動団体等の皆さんもあわせて、66 名が参加。実践発表には、石狩市教育委員会教育委員の皆さんも耳を傾けてくださいました。

研修会は、鎌田英暢教育長による開会の挨拶のあと、EPO 北海道による今年度の環境省事業等の説明。続いて、石狩市立厚田小学校の高橋公平先生、同双葉小学校の山本和彦先生、同生振小学校



多様な参加者が ESD について対話を深めました

の玉腰武教頭から、それぞれの小学校における実践と、あわせて石狩市環境全部の取り組みを発表いただきました。

先生方からご紹介いただいた、子どもたちの発表内容は「身近な課題について自分ができることを考え行動していく」学びを、学校・地域一丸となってどのよう

に構築し、実践していったか、そのプロセスと成果を熱く感じられるものでした。

後半は、発表された先生方も交えて参加者が4人ずつに分かれて「実践発表に対して考えたこと」を共有し、「ESD を石狩市でどのように活用していくか」について意見交換を実施。「先生が地域に関心を持ってもらうことが重要」「学習指導要領と関係づける」「石狩浜を地域の子どもたちにももっと知ってほしい」「継続的な取り組みには拠点も必要」などの意見が交わされました。

多くの方のご参加、誠にありがとうございました。平成 27 年度の ESD 推進委員会は 3 月 17 日（木）で終了いたしました。皆さまのご意見等をもとに、石狩市と石狩市教育委員会、環境省は平成 28 年度も ESD に取り組んでいきたいと考えています。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



実践発表に聞き入る会場の皆さん

# 市内2小学校の取り組みの成果が… 「北海道版 ESD 環境教育プログラム3」に!

## 石狩市立双葉小学校

石狩市立双葉小学校5年生は、「学び方を考える」「関わり方を考える」「生き方を考える」の3つの視点から「考える力」を育む授業を実践。

石狩浜をフィールドとして、夏休み前の宿泊学習からスタートし、9月には石狩浜と石狩川の河口を散策、11月には石狩砂丘の見学や地域の店舗でのインタビュー活動などを行ってきました。

自分たちが体験したことをもとにさらに詳しく調べ、発見した問題を解決するためにできることを考えた子どもたちは、一連の活動をまとめ、パソコンを使ったプレゼンテーションに挑戦。探究的な学習での気づきをこれからの生活の中でどう生かすか、一人ひとりの日常での実践へとつなげていくふりかえりをしっかり行いました。

## 石狩市立厚田小学校

石狩市立厚田小学校5・6年生は、厚田区にある風力発電所や、植林活動を行った「あつたふるさと森」、漁業などの地域の産業を教材として授業を展開。

自然・社会環境と自分たちのつながりを多面的に捉え、よりよい地域・社会づくりに関わるために、「周りの人たちの意見を聞きながら、自分の考えを根拠を持ってまとめる」力を身につけることを目標に取り組みできました。

「エネルギー」「植林」「漁業」「厚田と環境のつながり」のグループに分かれて体験したことや調べたことをまとめ、発表しました。ふりかえりでは、今後、厚田区の環境に対して自分たちが取り組んでいくことを考え合いました。

### 北海道ESD環境教育プログラム

#### 海辺・水辺から見える私たちの未来

**プログラムの目的**  
持続可能な社会づくりに向け、再生可能エネルギーと自然のつながりを多面的に理解し、自然・社会環境と自分たちのつながりを多面的に捉え、よりよい地域・社会づくりに関わるために、「周りの人たちの意見を聞きながら、自分の考えを根拠を持ってまとめる」力を身につけることを目標に取り組みできます。

**プログラムの概要**  
身近な地域の海辺・水辺を取り上げ、理解できる事象をできるだけたくさん挙げて、多様なつながりとし、その中に自分があるという認識を深めます。海辺・水辺に出かけ、自然のつながりや地域の現状と今かかっている課題から、これからの未来について考えます。

事前に社会的な背景や発展的な調査の仕方を学び、実際の学習活動を経て、自己と地域のつながりを見えながら、身近な海辺・水辺から見えることと多面的につなげていきます。

各回のまとまりを共有しつつ、この機会だけではなく継続的に、自分が地域の一端として何ができるのかについて考えることが大事であると気づくように学習活動を展開します。

<b>1時間目</b> 地域の海辺・水辺のつながりを知ろう 地域の海辺・水辺から理解することのよさを知り、多様なつながりを見つけていきます。	<b>5-7時間目</b> 地域の海辺・水辺を調べよう テーマについて調査をします。図説を確かめていくために、観察やインタビュー、文献調査など、効果的に考える複数の方法を学習を行います。
<b>2-3時間目</b> 地域の海辺・水辺にふれよう 身近な海辺・水辺を訪れ、現状の状況を体感し、自然のつながりや地域の現状と今かかっている課題について話し合いを行います。	<b>8-10時間目</b> 地域の海辺・水辺から見たことと多面的につなげてみよう 調べたことと自分たちが知っていること、自分たちが知っていることと多面的につなげてみよう。
<b>4時間目</b> 地域の海辺・水辺を調べる準備をしよう 調査の成果をテーマについて発表するときに、必要な観察の方法やインタビューの仕方、質問の仕方などを学びます。	<b>11-12時間目</b> 地域の海辺・水辺について自分をつなげてみよう 調べたことと自分たちが知っていることと多面的につなげてみよう。

EPO 北海道は今年度、環境省事業としてご協力をいただいた石狩市立双葉小学校、同厚田小学校での実践をもとに、「海辺・水辺から見える私たちの未来」と「再生可能エネルギーから考える私の『エコライフ宣言』』という2つの北海道版 ESD 環境教育プログラムを作成しました。

ホームページから簡易版と詳細版をご覧ください。ESD 環境教育に取り組もうとする際、ご参考ください!

#### 再生可能エネルギーから考える私の「エコライフ宣言」

**プログラムの目的**  
持続可能な社会づくりに向け、再生可能エネルギーと自然のつながりを多面的に理解し、自然・社会環境と自分たちのつながりを多面的に捉え、よりよい地域・社会づくりに関わるために、「周りの人たちの意見を聞きながら、自分の考えを根拠を持ってまとめる」力を身につけることを目標に取り組みできます。

**プログラムの概要**  
最初に身近なテーマで「観察」を持って選択・判断する力を養う活動を行います。次に自分たちが住むまちにある風力発電所など再生可能エネルギーの施設について、なぜそこにあるのかを調べてみます。そして現場の見学や専門家の話を聞いて、自分の意見をまとめる活動を行います。

調査や体験を通して学んだことをもとに、わたしたちの暮らしの未来プランを「エコライフ宣言」としてまとめ、発表します。最後に「エコライフ宣言」が本当に自分事になっているかどうかを、「観察」を持って選択・判断する力と持続可能な地域づくりへの参加にどのような役割があるか、ふりかえりを行います。

<b>1時間目</b> 自分の意見の理由を確かめよう 自分や人々、キャラクターなどを題材に、あるものを選んで理由を互いに話し合うことで、自分の意見を明確にしていく活動を体験します。	<b>8-10時間目</b> 「つなぐ」私たちの暮らし、未来をつなぐ 自分たちが住むまちにある風力発電所など再生可能エネルギーの施設について、なぜそこにあるのかを調べてみます。そして現場の見学や専門家の話を聞いて、自分の意見をまとめる活動を行います。
<b>2-4時間目</b> 自分の暮らしの未来を想像しよう 再生可能エネルギーの施設について、なぜそこにあるのかを調べてみます。そして現場の見学や専門家の話を聞いて、自分の意見をまとめる活動を行います。	<b>11-12時間目</b> これまでの学習活動の振り返り 自分たちが住むまちにある風力発電所など再生可能エネルギーの施設について、なぜそこにあるのかを調べてみます。そして現場の見学や専門家の話を聞いて、自分の意見をまとめる活動を行います。
<b>5-7時間目</b> 自分の暮らしの未来を想像しよう 再生可能エネルギーの施設について、なぜそこにあるのかを調べてみます。そして現場の見学や専門家の話を聞いて、自分の意見をまとめる活動を行います。	

【北海道版 ESD 環境教育プログラム】 [http://epohok.jp/katsudou/index.php?content\\_id=22](http://epohok.jp/katsudou/index.php?content_id=22)

発行：環境省北海道環境パートナーシップオフィス・石狩市教育委員会  
編集：環境省北海道環境パートナーシップオフィス  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル7階 HP: <http://epohok.jp/>  
TEL: 011-596-0921 FAX: 011-596-0931 Email: [epoh-webadmin@epohok.jp](mailto:epoh-webadmin@epohok.jp)

